

| 受 験 番 号 |  |  |  |  |  |
|---------|--|--|--|--|--|
|         |  |  |  |  |  |

| 氏 名 |  |
|-----|--|
|     |  |

2025年度  
放送大学大学院博士後期課程  
文化科学研究科 文化科学専攻  
**生活健康科学プログラム**  
筆記試験問題（小論文試験）

試験日：2024年10月5日（土）

試験時間：13時00分～15時00分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「試験問題冊子1冊」、「解答用紙3枚」及び「下書き用紙3枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、試験問題冊子を確認してください。試験問題冊子は、表紙、白紙、問題（1ページ）の順に綴じられています。試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 試験問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号及び解答用紙の何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。  
小問題及び選択問題がある場合、解答する際の番号の記入箇所は、解答用紙のマス目の外としてください。  
なお、問題文中に別途記入方法の指示がある場合はそちらに従ってください。
7. 解答用紙1枚につき、1,000字まで記入することができます。解答用紙3枚のうち、生活健康科学プログラムは3枚以内で解答してください。指定された字数に従って解答してください。
8. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を綴じているホチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。
9. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙は試験終了後に回収します。試験問題冊子及び下書き用紙に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

**生活健康科学プログラム**  
**筆記試験問題（小論文問題）**

**問**

あなたの研究は、現代日本が抱える様々な問題に、どのようなインパクトを与え得るか説明しなさい。その際、現代日本が抱える問題を明確に示したうえで、次のキーワードの中から5つ以上を選んで使用し、2,000字程度で記しなさい。使用したキーワードには、初出のところに下線を引くこと。

**【キーワード】**

エンパワーメント、オーバーユース、オープンダイアログ、サルコペニア、スティグマ、ストレス対処力、スピリチュアリティ、データ、フィジカルアセスメント、フレイル、メタボリックシンドローム、リスク管理、リスクコミュニケーション、リスク評価、2025年問題、2040年問題、介護家族支援、科学的助言、家族政策、看護判断、教育、近代家族、健康寿命、健康生成論、健康日本21（第三次）、健康の社会的決定要因、行為依存、公私二元論、高齢者雇用、個人化、子どもの権利、座位行動、最適化、作動中の科学、座標、自殺予防、指標、社会的包摂、就労、障害、条約、女性差別、自立生活、人権、人口減少、深層学習、身体活動、生活習慣病、正当的周辺参加、脱家族化、地域共生社会、地域包括ケアシステムの深化、適応障害、当事者性、糖尿病、認知症基本法、認知症フレンドリー社会、前処理、臨床推論、臨床判断